

《JICA だより》

マレーシア林産研究協力計画 プロジェクトの概要

林 久 晴

前号 No. 2 の誌上で、中国黒龍江省木材総合利用研究プロジェクトとインドネシア熱帯降雨林研究プロジェクトの2つの新しい林業技術協力プロジェクトを紹介したのに引き続き、本号においてもまたひとつ標記の新しいプロジェクトの誕生をお知らせできることとなった。

以下、プロジェクトの成立の経緯と内容について概要を述べよう。

1. 経緯

本プロジェクトに対するマレーシア国から我が国への協力要請は昭和55年8月である。マレーシアの第一次産業省林業局に置かれている森林研究所で行なわれている林産研究分野の研究能力、体制を強化するため、プロジェクト方式の技術協力（専門家の派遣、我が国での相手国技術者の受入研修、必要機材の供与を一体的に行う技術協力方式）を要請してきたものである。

この要請を受けて、我が国は再三にわたり調査団を派遣してマレーシア側関係機関と協議を重ねたが、マレーシア側より専門家の語学の問題、研究成果の帰属問題等の提起がなされる等幾多の難問が生じた。このため、それらの問題解決のため多くの時間を要することになったが、ようやく我が国とマレーシア側による合意が成立し、本年3月25日 R/D（討議議事録）に双方がサインし、要請があつてからおよそ4年7か月をかけて新プロジェクトの発足をみたものである。

2. 主な協力内容

本プロジェクトの協力内容の骨子は次のとおりである。

(1) 協力目的

マレーシア森林研究所における林産研究能力の向上を図るため、我が国の林産研究に関する技術移転を行う。

(2) 協力期間

HAYASHI, Hisaharu : Outline of the Technical Cooperation for the Forest Products Research Project in Malaysia

国際協力事業団林業水産開発協力部

1985年3月25日から5か年間。

(3) 協力分野

我が国が協力する研究分野と暫定的な実行計画は次のとおりであり、木材利用及び木材化学の分野にまたがる幅広いものとなっている。

研究分野	協力期間
集成材 (wood lamination)	1985～1990. 4
木材抽出成分 (wood extractives)	1985～1990. 4
木材分析 (wood analysis)	1985～1990. 4
木質板製造 (wood-based panel production)	1985～1990. 4
木材保存 (wood preservation)	1985～1989. 4
木材乾燥 (wood drying)	1986～1990. 4

(4) 協力体制

技術移転のため、プロジェクト実施期間中、マレーシア森林研究所へ長期専門家(派遣期間1年以上となる専門家)3名並びに業務調整のための専門家1名の計4名を継続的に派遣するほか、必要に応じて短期専門家(派遣期間1年以下)を派遣し、技術移転を行う。

また、マレーシア側の研究者(主として日本人専門家が技術を教える対象とする者)の技術の向上を図るため、我が国に招いて研修を行う。

更に研究推進に必要な機械をプロジェクトの進捗に合わせて供与する。

このほか、プロジェクトの円滑な実行のため、その運営についての計画打合せ、指導、評価等を行う調査団を派遣する予定である。

以上がマレーシア林産研究協力計画プロジェクトの概要であるが、本プロジェクトの性格が研究プロジェクトであることから、具体的な実行については林業試験場を中心とした関係各位の御協力を得て行うこととしている。

本プロジェクトの新規発足により、現在実行中の林業関連技術協力プロジェクト数(実証事業も含む)は10を数え、さらに60年度中には、ブルネイ、ケニアとその他のアフリカ諸国の中で1つの新規プロジェクトの発足が予想されているなど、ますます増大する傾向にある。

その円滑かつ効果的な推進が強く求められており、関係者の皆様のより一層の御協力、御支援をお願いする所である。